

【小学校で認知症の理解を深める公開授業を実施】

小学生約300名が参加・地域で認知症高齢者を支える

スタートケアサービス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：山崎千里）が運営する認知症対応型共同生活介護『グループホーム きらら西葛西』（東京都江戸川区）が主体となり、6月15日、同区内「江戸川区立清新第一小学校」で認知症理解を深める公開授業を実施しました。

■地域密着のサービス

当社の運営するグループホームでは、日頃から地域との関わりを大切にし、2018年6月に地元の方のご紹介とご縁により、『グループホーム きらら清新町』の職員が江戸川区立臨海小学校で公開授業を実施。多方の学校関係者から好評の声とお招きをいただき、今回は清新第一小学校での実施となりました。

■授業の様子

小学5・6年生の生徒、保護者、地域の住民を含む約300名を対象に実施。わかりやすいようイラストをつけたスライドによる講義の他、興味を持ちやすいように、寸劇などを交えて認知症の方への理解を深めていただきました。質疑応答では子ども・保護者両方から「どういった声かけがいいのか」「家庭に認知症の母がいる」という実生活や実体験に基づいた質問もあり、このような取り組みの必要性を実感しました。今後もあらゆる世代に高齢者介護を支える大切さを伝えていく役割を担い、地域連携を進めて参ります。

スタートケアサービスではこの他、江戸川区の中学2年生を対象とする職場体験の受け入れなど、その他のエリアに展開する100の事業所（7/1時点）において、地元の方々との関わりを大切に地域密着のサービスを展開しています。



公開授業・寸劇の様子



公開授業で使用したスライドの一部

<本件に関するお問い合わせ先>

スタートケアサービス株式会社 広報：渡辺

E-mail：s-careservice@starts.co.jp

TEL：03-6880-3253（直） FAX：03-6880-3261